

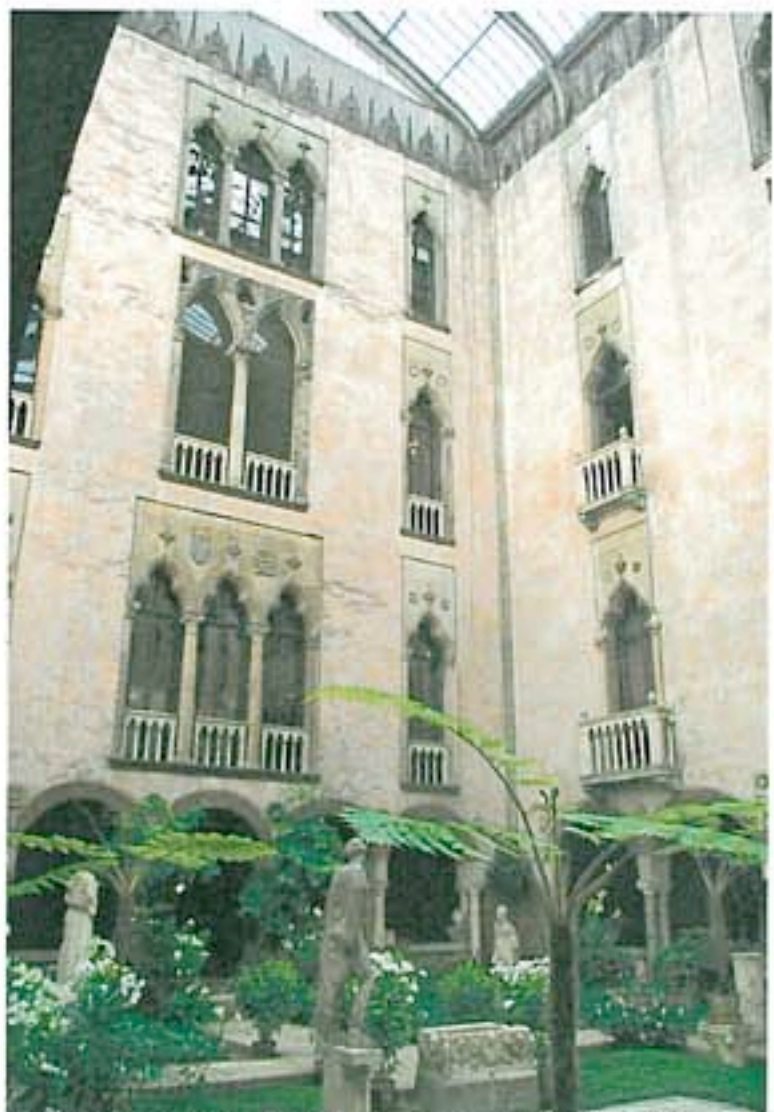
Walden Pond Times

芸術の秋 ～ボストンより～

この季節になると各地でオーケストラなどの演奏会やイベントが盛り上がり始め、『芸術の秋』の到来を感じます。そんな芸術の秋、音楽や絵画、彫刻、季節の花々などが、全部一度に楽しめてしまう素敵なところ、イザベラ スチュアート ガードナー ミュージアム (Isabella Stewart Gardner Museum) をご紹介いたします。ガードナーミュージアムはアメリカ マサチューセッツ州ボストンの街の中心部にあります。ビルの中に囲まれたこの建物の中へ一歩踏み入ると... 初めにイザベラ・スチュアート・ガードナーがこの美術館にゲストを招いたのは1902年の大晦日。その晩ゲストは、目を見張るほど美しい花と緑でいっぱいの中庭を囲み、バッハ、モーツァルト、シューマンなどの音楽を聞き、米国内で見られる芸術の最も素晴らしいコレクションを見ることができました。こんにち私たちは、コレクションの鑑賞はもちろんのこと、中庭に咲き乱れる花々やコンサートなど、そのときとほとんど同じものを体験することができるのです。



ガードナー夫妻にはジャッキーという息子がいましたが2歳で他界、それから約2年間、イザベラはショックから病気がちな日々を送っていましたが、医師の薦めもあり夫ジャックはイザベラをスカンジナビア、ロシア、ウィーン、パリへと連れて行きました。イザベラはエネルギーを取り戻し、夫妻はその後も各地への旅を楽しみましたが、その中で特にイタリアルネッサンスの芸術に衝撃を受け、ペニスをしばしば訪れるようになります。ペニスではアメリカから追放された作家や無名の芸術家たちと食事したり、イザベラを見たり、アンティークや芸術品を購入したりして過ごしました。数多くの芸術品を集めた中で、コレクターとしての目は養われていきました。(イザベラ・ガードナー夫人は、ボストン美術館の東洋部長だった岡倉覚三/天心を含む著名アーティストたちとも友好関係があり彼らの支援者でもありました。岡倉天心はイザベラのコレクションのアドバイザーのひとりでもあったようです。また、イザベラはボストン交響楽団、レッドソックス、ハーバードカレッジフットボールの熱烈なファンでもあったそうです。) イザベラがこの美術館設立に向けて動き始めたのは1898年12月、イザベラ58歳のときでした。夫ジャックが膨大な遺産を残して他界、生前より計画のあった美術館を実現させたのです。イザベラ自身はその4階に暮らしました。 さて、ミュージアムの中を簡単にご案内しましょう。1階から3階までは、イエロールーム、ブルールーム、ラファエロルーム、ダッチルーム、タバストリールーム...などなど、変化とそれぞれの特徴ある部屋に分かれています。各ギャラリーでは、30世紀にまたがる文化～絵画、彫刻、タバストリールーム、家具など～数多くの芸術品見ることが出来ます。コレクションの芸術性の高さは個人のコレクターによる美術館としては世界的でもトップレベルで、サーシャント、ポッティチェリ、ラファエロ、ヴァン・ダイク、ドガ、マチス、マネ...などなどの数多くの作品を見ることが出来ます。



夏以外の季節は、いちばん大きなお部屋、2階のタバストリールームで土曜日になるとジャズやクラシックミュージックのコンサートが行われています。その他の日も、さまざまな教育プログラムやファミリーアクティビティー、講演会などのイベントがあり盛りだくさんです。 さて、なかなか日本にはイザベラという女性はいないと思いますが、スペシャルオファーがあります！ 登録されたイザベラさんは、生涯を通じてガードナーミュージアム入場無料、ショップでは1割引でお買い物をお楽しみいただけるそうです。(写真提供/Isabella Stewart Gardner Museum)

Fall is "Salmon Time" on Lummi Island ~DLD インターナショナル (アメリカ事務所) Steveの暮らす島からの季節のレポート～



サウンド諸島を通過します。ルミー島はその島々の中のひとつです。その昔ネイティブの漁師たちは島の近くの浅い岩礁 (reef/リーフ) 地帯を選んで鮭を待ちました。二槽のシーダーのカヌーから岩礁に錨を降ろし、ネットを仕掛け、魚がネットにかかるのを待つのです。魚が十分にかかったのを確認すると、素早くネットを引き上げ捕らえます。今ではカヌーは高い時計台の付いた細長いボートに代わり、またネットはガソリンで動くウィンチで操作されていますが、リーフネットングサーモンの質は高く需要は衰えません。リーフネットングはまた、予定外の魚を傷つけずにリリースできるという意味でも環境に良い方法だと言えるでしょう。

Salmon Fishing 鮭釣り ルミー島は世界的に非常に珍しいリーフネットングと呼ばれる鮭釣りでも知られる島です。このリーフネットングは、太平洋北西部のアボリジノの祖先が始めた釣りの方法だと言われています。ルミー島はこの季節のフィッシングの名所とも言えるべきところで、1700年後半、まだヨーロッパからの移民が始まる前に、ルミーインディアンの部族によりリーフネットングが行われていました。 この時期太平洋北西へと旅に出ている鮭たちは、産卵のために生まれた地へと戻ってきます。そのうちの多くは、プリティッシュコロンビア (カナダ) の広大なフレーザー川へと戻りますが、その途中にピュージェットサウンド諸島を通過します。ルミー島はその島々の中のひとつです。その昔ネイティブの漁師たちは島の近くの浅い岩礁 (reef/リーフ) 地帯を選んで鮭を待ちました。二槽のシーダーのカヌーから岩礁に錨を降ろし、ネットを仕掛け、魚がネットにかかるのを待つのです。魚が十分にかかったのを確認すると、素早くネットを引き上げ捕らえます。今ではカヌーは高い時計台の付いた細長いボートに代わり、またネットはガソリンで動くウィンチで操作されていますが、リーフネットングサーモンの質は高く需要は衰えません。リーフネットングはまた、予定外の魚を傷つけずにリリースできるという意味でも環境に良い方法だと言えるでしょう。

- バーベキューサーモンとポートベロマッシュルームの作り方
- 1.炭またはガスのグリルを用意し、炭が中火になるまで燃やします。
 - 2.鮭を人数分切り身にしておきます。(一人100～200g)
 - 3.頭と骨はカニの餌になるので取っておきます。(カニ漁については次号で！)
 - 4.大きめのポートベロマッシュルームを数個、幹の部分のカットして洗います。このとき笹を切り落とさないようにしてください。
 - 5.笹をひっくり返して並べ、大きじ1～2のエクストラバージンオリーブオイルを笹に染み込ませます。
 - 6.鮭の切り身は、皮を下にして魚汁を逃がさないようにアルミホイルのポートの中に置きます。
 - 7.マッシュルームは調理に30分ほどかかるので、サーモンを焼く前に取りかかります。
 - 8.マッシュルームの笹を逆さまにして置いて、蓋をします。火の強いところを避け、端の方に置いてください。
 - 9.バーベキューグリルの上に鮭のアルミホイルポートを置き、グリルの蓋をします。
 - 10.ときどきマッシュルームとサーモンの様子を見ながら待ちます。
 - 11.マッシュルームの笹がしっかりときて泡が出始めたら、できあがりの合図です。
 - 12.鮭は20分ほど焼きあがります。焼き過ぎないように気を付けてください。
- ～オプション～ スモークの香りを楽しむ場合は、グリルの蓋をする前に炭の上に少しハードウッドのチップをのせておきます。オーク、ヒッコリー、林檎などのチップがおすすです。少し甘みのある味に仕上げたい場合は、火にのせる前に、お好みにより大きじ1～2のブラウンシュガーを切り身の上にならべておきます。



Serving Suggestions 盛り付け - ゆでたのトウモロコシ、冷たいパスタサラダ、赤ワイン (写真は Mount Baker Vineyardsのカベルネソーヴィニオン) と一緒に召し上がれ！

<http://www.dld.co.jp>

シーズン前のお手入れ.. メンテナンス



今年は本当によく台風の上陸する年です。ニュースを見ていると、屋根が剥がれ飛んでしまったり、木が倒れてきたり、気がきではありません。雨も沢山降り、湿っぽい毎日が続きました。ストーブも室内に湿気が溜まると錆びも心配ですが、他にもガスケットロープが剥がれてしまったりすることがあります。そこで今回は、ストーブのガスケットについて、お話ししたいと思います。ガスケットとは、主にドアやダンパー、ガラスの淵に付いているロープ状のもので、ストーブの気密を保つ役目をします。ですから、このガスケットが剥がれてしまったり、劣化してしまうとストーブの気密が取れなくなり、薪が燃えずで火持ちが悪くなったり、燃焼空気が余分に入り過ぎるため過剰燃焼により、本体の錆物が割れてしまったりすることがあります。ガスケットロープの寿命は使用条件により大きく変わります。劣化しやすくなる例として、タールがガスケットロープに付着してタールの水分をガスケットロープが吸収し硬くなり、劣化を早めてしまう事が一番多く見られます。他にも過剰燃焼による劣化などが見受けられます。だから、しっかりと乾燥した薪を、ストーブの通常燃焼温度でお使い頂ければ、ガスケットロープの寿命は最低でも5年は保ちます。ただガスケットは使用するほどと、潰れていきますので、ドアの調整が必要です。ガスケットロープは少しの弾力があり、ポロポロと裂け切れていなければ使用できます。ただ剥がれてしまったものは、ガスケットボンドやガスケットセメントを使い張り直せばよいですし、ガスケットロープの弾力は少しあるけれどもドアの調整をしてもドアの締めりが緩いのであれば、ガスケットロープが収まっている溝に、ガスケットセメントを通常よりも多く盛り、底上げをして張り直せば、まだまだ使えます。とにかく、しっかりと乾燥した薪を使い、ドアの周りに付いたタールを丁寧に綺麗に取り除いてあげれば、ガスケットロープは長く使用できます。快適な薪ストーブシーズンの前にもう一度点検してみてください。

郡山営業所

稲穂を垂れた田んぼの上の澄み渡った夜空や、虫の声を聞きながら夜空にぼかりと浮かぶ月を見上げると、確実に秋の訪れを感じ取れるようになってきました。ここ郡山市でも郊外へ一歩踏み出すと、刈り取りを待つばかりとなった田園が広がり、阿武隈川を挟んで西に臨む安達太良山麓、東に目を向けると阿武隈山系と、豊かな自然を感じる瞬間です。東北地方の一番南に位置し、広大な面積を持つ福島県では、地域ごとに気候的な特色をもち、同じ季節なのにこんなにも違うのかと驚かされるほどです。



スタッフ紹介..郡山営業所編.. 東西南北パワフルにかけめぐる頼もしい男たち。左から営業高橋、工事部の深谷主任、工事部の小林、そして小林所長。

郡山市の降雪は少な目です。しかし冬季の北西の風が強い地域なので、厳寒期には、気温の割りに寒いと感じることがしばしばあります。逆に真夏には、阿武隈山系を越えてくる南東の風がフェーン現象を起こすのか、今年も気温35℃前後の日が続きました。鉄道網や高速道路網が四方に広がり、さらには近隣の福島空港など、交通や流通の拠点となるこの場所に、弊社の郡山営業所はあります。営業所から一時間余り車で移動すると、東には海の幸や海水浴場が豊富で季節を問わず穏やかな太平洋。西に行けば、大自然の宝庫、山岳地帯があり、県内各地で遊びや観光に事欠くことはありません。これからの季節、食べ物のおいしくなる季節ですが、その前にちょっと散策をしてみましょう。やはり、まずは磐梯朝日国立公園をおいて他にはないと思います。その中でもとりわけ裏磐梯に注目してみたいと思います。1888年(明治二十一年)に起きた磐梯山噴火時の崩落により湖沼群を形成した裏磐梯は、116年を経た今でもその痕跡を見ることができ、自然の力の大きさや生命力を知ることができます。澄んだ空気と湖底まで見える透明度の湖沼や、その水をたたえる数々の雑木の重なり合う深谷では、カヌーや釣り、川遊び、ハイキング、サイクリング、キャンプなど、大自然の中で時間を忘れ、その中に溶け込んでしまいたいようなくらい、自然を満喫できます。これからの季節は、原生林や深谷の紅葉も楽しみになりますが、十月に入ると木の葉の色づきが目立ち始め、中頃までにはピークを迎え、そして盛りを過ぎた十月末頃には早くも磐梯山の初冠雪を迎えます。冬には高く積もった雪に閉ざされた場所となりますが、それでも数々のウィンタースポーツやわかさぎ釣りなど冬の楽しみも満載です。みなさんも是非一度足を延ばしてみてください。郡山営業所 小林

長野ショールーム

秋と言えば、食欲の秋。ショールームでは東側に『アウトドア・オープン・キッチン』を増設しています。ストーブ祭を披露目に合わせて目下製作中です。昨年同様、当日はピザやお弁当を焼いて皆様をお待ちしています。ぜひ一度ご賞味ください！ティーエルディーでは、薪ストーブの販売・施工のみならず、薪ストーブを使った料理をはじめ、薪置き棚、薪を使った野外料理、ピザ釜、そして、今回『オープン・キッチン』を提案させていただきます。家族で、又お友達を誘って、屋外パーティーを開けば、同じお料理も、あーら不思議！魔法にかかったように美味しさもひとしお！手作りの食材に舌鼓！火を囲んで、味覚を楽しみながら語らう時間は、何物にもかえがたい、至福のひとつとなるはず。是非この機会に、ティーエルディーの提案する「薪にまつわる物語」に参加されてはいかがでしょうか？



INFORMATION

第7回ストーブ祭.....10/9日(土)・10日(日)

除雪機予約販売開始!

期間限定で特典が!

10月末までの予約、ご購入の方 (チラシ参照)

薪を10/15までにご注文・納品の方に薪10束サービス!

NEW ファイヤーセット 30%OFF!!

10月末までの予約限定。ご予約はお電話で。

編集後記

8月、アメリカへ行ってきました。滞在したサンノゼは気持ちの良い天候のなか一年中オレンジ、レモン、洋梨の実が庭先で手にとれる、ある意味贅沢な素敵なお店でした。印象に残るのはカリフォルニア州とネバダとの州境にある「Lake Tahoe」。紺碧の湖と言われ、スキーリゾート地として有名ですが、夏場大自然を満喫するのに多くの人が訪れます。雄大な山々にも色にも広がっていくエメラルドベイの美しさが一段と映え、圧巻です。州境のため雰囲気もがらっと分かれネバダ州に入れば松ぼっくりもたくさん見られます。それに40cmもの松ぼっくりをたくさん拾いタホ湖の良い思い出となりました。さて、ウォーレンポイントタイムス vol2、楽しく読んでいただけでしょうか? 次回は Tokyo office も紹介します。お楽しみに! (中島)

